

花の風景

FLOWER LANDSCAPE DESIGN

岡田憲久



全景



内部全景



壁泉



壁泉



花々の広間



モザイク貼り



ポラード



水路



## 花のふれあい広場館

所在地 石川県松任市

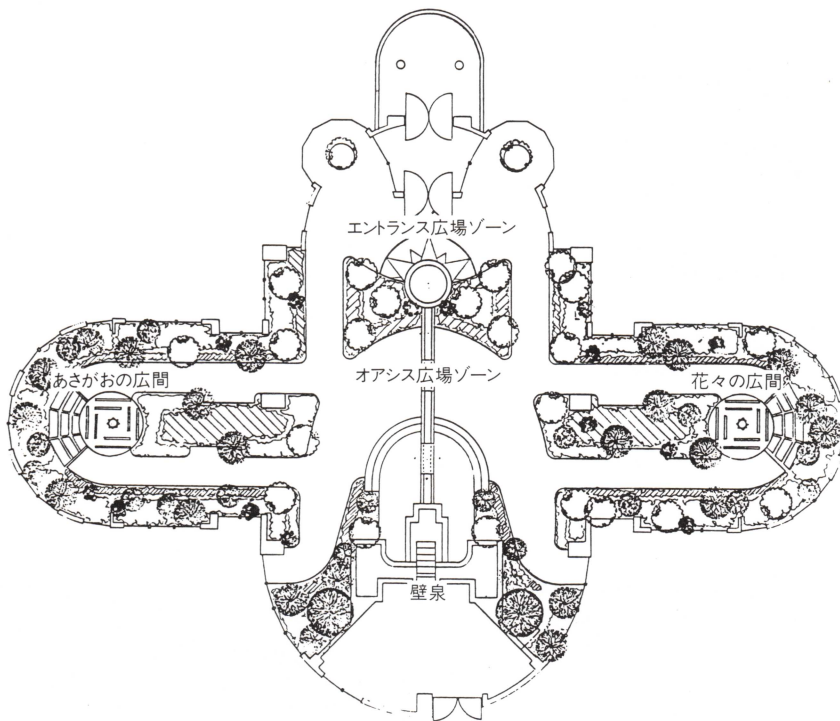
制作 1992年

農業公園入口に位置するアトリウム。長い冬の北国のオアシス空間として。

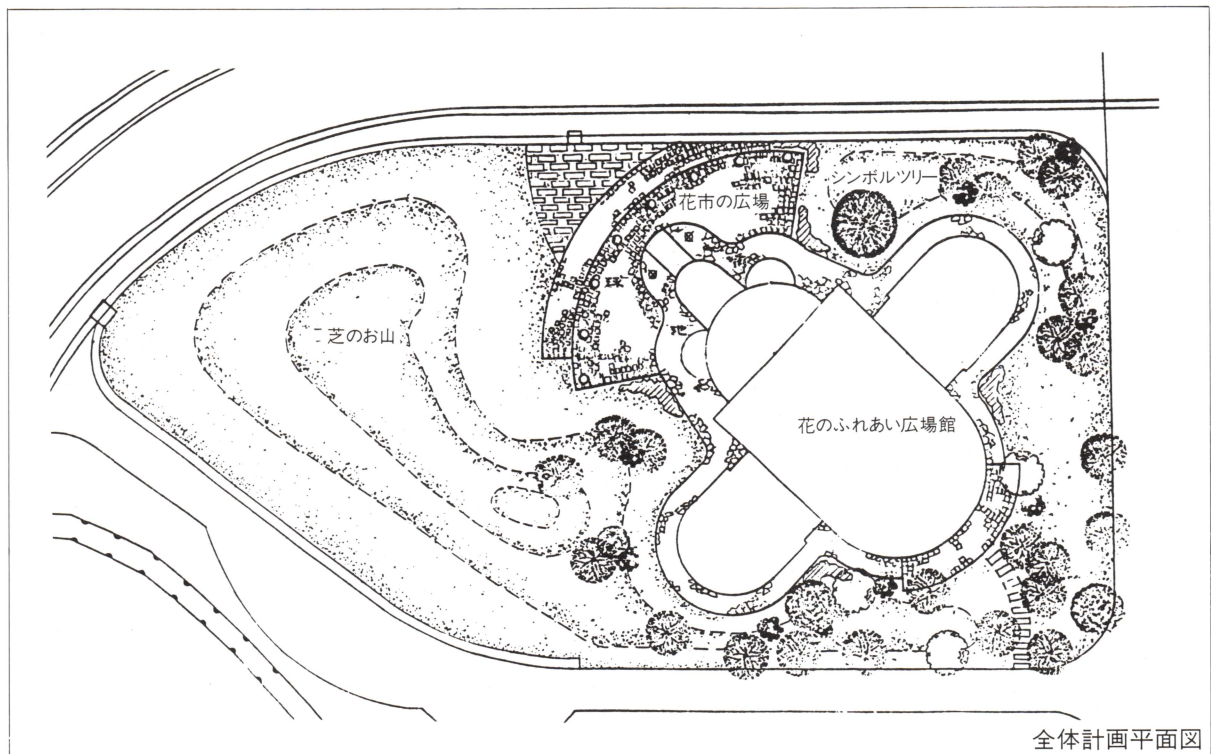
農業人口が激減する松任市において、新たな農の文化振興のため、都市と農村の出逢いの広場として計画したものである。

内部空間は松任市の地域産業としての花卉園芸の展示を、陳列的展示ではなく、シンボリックにデザインした壁泉を中心に景観的植栽として行ない、若い後継者達の意識を触発するものとした。又、外部空間は花市の広場として、花を中心に農作物の青空市を行なう広場として計画した。

こうした建築物の中の植栽空間は、人工的でしかありえない都市空間へ、より多くの緑を持ち込む実験的アプローチでもある。



内部空間計画平面図



全体計画平面図

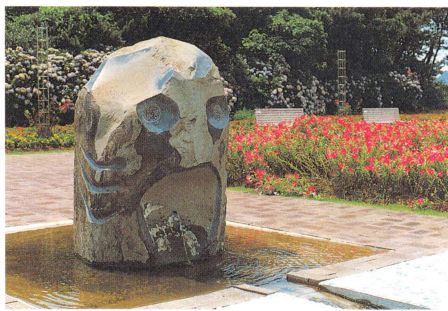


春の顔

## 花の迷宮

所在地 愛知県渥美町伊良湖フラワーパーク

制作 1991年



夏の顔



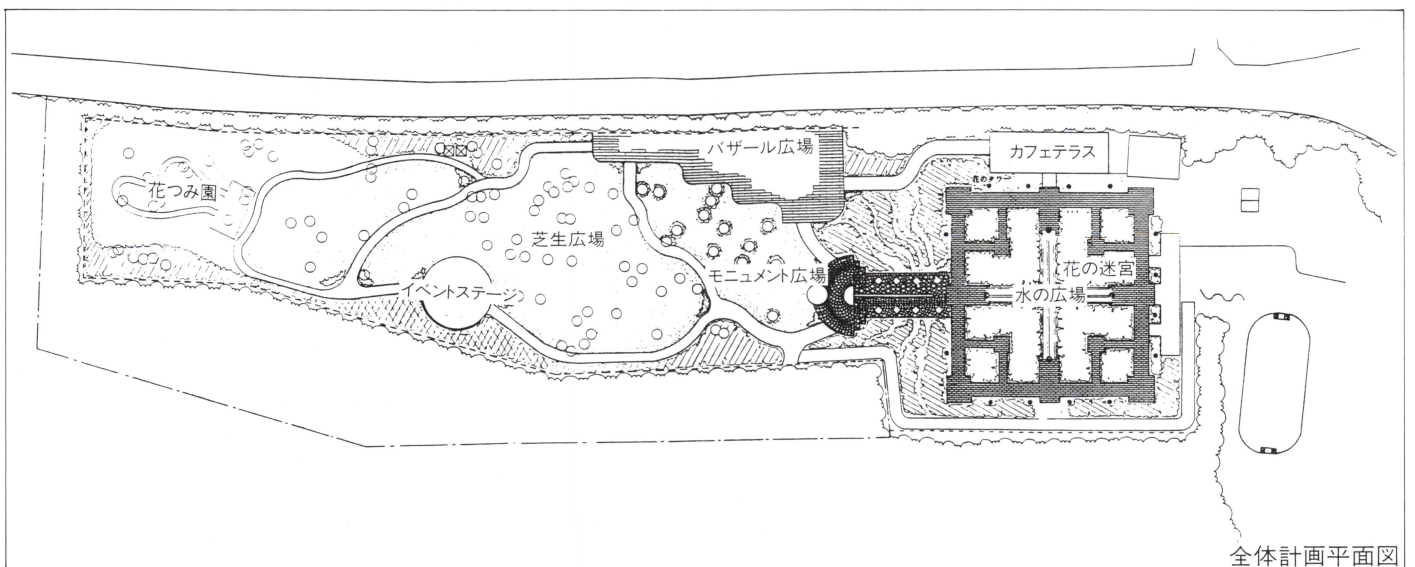
水路



全景

今求められている親自然の暮らしの日常的現われの一つとして花の愛好家の急増が上げられる。こうした社会的需要人口を背景に、花の情報発信基地を目ざし、約1haの保安林を解除し計画したものである。

十文字の水路の四隅に子供達に親しまれる四季の顔と題する水のモニュメントを置き花の整形式庭園を計画。奥の花つみ園への誘導としてモザイクタイル貼りの水路を計画。春には渥美半島のシンボル菜の花がこのゾーン全体を包み込む。



全体計画平面図